**令和４年度大阪府公立高等学校入学者選抜等における**

**別紙（中学校等用）**

**新型コロナウイルス感染症への対応について**

Ⅰ　新型コロナウイルス感染症の検査で陽性反応が確認され、かつ保健所から安静・療養の解除又は終了の指示を受けていない者（以下「陽性者」という。）への対応について

１　出願について

出願は代理の者が行う。ただし、陽性者や濃厚接触者、発熱等の風邪の症状がある者等は代理の者となれない。

２　学力検査等について

受験できない。ただし、一般入学者選抜に出願した者については、追検査に出願することができる。

　３　その他

中学校（中学校に準ずる学校、義務教育学校又は中等教育学校の前期課程を含む。以下同じ。）の校長は、出願以降、志願者が陽性者であることが判明した時点で、志願先高等学校長（共生推進教室選抜においては、共生推進教室を設置する高等学校長。以下同じ。）に速やかに電話等により連絡する。その後、「新型コロナウイルス感染症の陽性者に係る報告書（様式701）」をメール等により志願先高等学校長に提出する。ただし、当該志願者が保健所から安静・療養の解除又は終了の指示を受けた場合は、電話等により志願先高等学校長に連絡するとともに、様式701の内容を変更して志願先高等学校長に提出すること。

なお、様式701には個人情報が含まれるので、送付する際には、必ずファイルにパスワードをかけること。

　なお、外国から帰国又は入国した者で、検疫法に基づく隔離・停留が必要とされている者及び検疫所長が指定する場所において待機を指示されている者は、受験できない。

Ⅱ　新型コロナウイルスへの感染の疑いがある者（以下「対象者」という。）への対応について

１　対象者

　　(1) 無症状の濃厚接触者

保健所等により濃厚接触者として特定され、ＰＣＲ検査等の結果陰性であることが判明している者のうち、学力検査等当日に発熱等の風邪の症状がない者

　　　　なお、濃厚接触者に特定されＰＣＲ検査等を受検する予定の者（結果待ちを含む。）及び有症状の濃厚接触者（保健所等により濃厚接触者として特定され、ＰＣＲ検査等の結果陰性であることが判明している者のうち、学力検査等当日に発熱等の症状がある者）は、受験できない。ただし、一般入学者選抜に出願した者については、追検査に出願することができる。

　(2) 発熱等の風邪の症状のある者

２　内容

 (1) 対象者の出願は代理の者が行う。ただし、陽性者や濃厚接触者、発熱等の風邪の症状がある者等は代理の者となれない。

(2) 対象者の学力検査等は、それぞれ以下の専用の別室で実施する。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 対象者 | 対応 |
| 別室Ａ | 無症状の濃厚接触者 | ・受験者間が２メートル以上となるように座席を配置する。・できる限り受験者の前にアクリル板や透明ビニールシート等を設置する。 |
| 別室Ｂ | 発熱等の風邪の症状のある者 |

　※その他、状況に応じて、教育委員会が学校、保健所等と連携し、別途の対応をとることがある。

※これ以外に、例年別室対応を行っている者（配慮受験者、インフルエンザ等による体調不良者等）に対する別室を設定する。

Ⅲ　出願について

１　出願者は出願日当日に検温し、体調等を把握する。発熱等の風邪の症状がある場合は、代理の者が
出願する。

なお、教職員等が急遽、志願書等をとりまとめて出願することになった場合等は、入学志願書の右上の提出日及び ⑪「調査書等の提出を必要とする志願者」の記載内容が異なっていても、これらの項目に関して修正する必要はない。

２　出願者はマスクを着用する。

Ⅳ　学力検査等の実施について

１　全般的な留意事項

　(1) 受験者は学力検査等実施当日の朝に検温し、発熱等の風邪の症状がある場合は、午前８時までに中学校長に連絡する。連絡を受けた中学校長は、速やかにその旨志願先高等学校長に連絡し、当日の検査を受験する場合は、別室受験を願い出る。

　(2) 受験者はマスクを着用する。障がい等の状況によりマスクを着用できない受験者は、別室受験とし、中学校長はあらかじめその旨志願先高等学校長に願い出る。当該受験者の学力検査等の実施にあたっては、アクリル板や透明ビニールシート等を設置する等の感染防止対策を行う。

(3) 本人確認を行う場合に、受験者に対し短時間マスクを外すよう指示することがある。監督者等の指示に従って行動するとともに、マスクを外す際は私語を慎む。

(4) 検査室等は換気の影響により寒くなることも考えられるため、受験者は着脱可能な暖かい服装で検査等に臨むこととする。その際、文字や地図等が入っていることにより問題の解答に影響があると考えられるものは着用しないよう留意する。

なお、事前に承認があった者を除き、検査時間中のひざ掛け等の使用は認めない。

　　(5) 昼食時はマスクを外すことになる。受験者は、食事中は私語を慎み、食事をとり終えた後は速やかにマスクを着用する。また、食事の前後には、手洗いや手指消毒をする。

 (6) 検査中に受験者が陽性者又は濃厚接触者に特定されたことが判明した場合、中学校長は速やかに志願先高等学校及び市町村教育委員会に連絡する。当該受験者については、「Ⅰ」の「２」、「Ⅱ」の「１」の(1)又は「Ⅱ」の「２」の(2)の対応をとる。

なお、学力検査等を続行することができない者については、志願先高等学校まで保護者等が迎えにいくこととする。また、一般選抜においては、当該受験者を追検査の対象とする。

２　専用の別室における受験について

(1) 志願者が濃厚接触者に特定された場合、ＰＣＲ検査等の結果が出ていない者も含め、中学校長は「新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者に係る別室受験依頼書（様式702）」（以下「依頼書」という。）を出願最終日の午後２時（定時制及び通信制の課程にあっては午後５時）までにメール等により志願先高等学校長に提出する。なお、様式702には個人情報が含まれるので、送付する際には、必ずパスワードをかけること。

出願最終日の午後２時（定時制及び通信制の課程にあっては午後５時）以降に濃厚接触者が確認された場合、中学校長は速やかに志願先高等学校長に電話等により連絡するとともに、様式702を志願先高等学校長に提出する。

ＰＣＲ検査等の結果が明らかとなった場合や外出自粛要請が解除されるなどして別室受験の必要がなくなった場合は、中学校長は志願先高等学校長に電話等によりその旨連絡する。

　　(2) 無症状の濃厚接触者が受験する場合は、可能な限り公共交通機関の利用を避ける。自家用車等で会場に来る場合は、交通渋滞等により遅刻する事のないよう十分注意する。また、志願者が濃厚接触者に特定された場合は、中学校長は学力検査等実施当日に利用する交通手段についてあらかじめ志願先高等学校長に連絡するとともに、当日の集合場所等について確認する。

(3) 濃厚接触者がいる場合は、当該志願者の体調等に十分留意する。濃厚接触者に学力検査等当日、発熱等の風邪の症状が見られる場合は、当該志願者に対して受験できないことを改めて確認するとともに、志願先高等学校にその旨連絡する。

Ⅴ　面接及び実技検査等の実施について

原則として「Ⅳ　学力検査等の実施について」に準じて対応する。

１　面接や口頭試問等、面接員等と受験者等との間でやりとりが必要となる場合は、受験者と面接員等との間を２メートル以上とする。集団面接では、受験者間のスペースを可能な限り確保する。

対象者については別室で個別に面接等を行うこととし、受験者と面接員等との間にアクリル板又は透明ビニールシートを設置する。

２　音楽科の専攻実技等、マスクを着用したまま検査を実施することが困難な場合、実技検査中に限り、受験者に対しマスクを外すことを許可することがある。受験者は監督者等の指示に従って行動すること。

３　体育に関する学科等の実技検査については、「府立学校における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」や各競技団体等のガイドライン等を参考にして、感染拡大防止に努めながら実施する。受験者は実技検査中もマスクを着用することが望ましいが、状況等によりマスクを外すことを許可することがある。器具や用具を共用で使用する場合、受験者は使用前後に手指消毒や手洗いを行う。

　対象者については、対人で行う検査を実施しないなど検査内容を変更する場合がある。

Ⅵ　合格者発表について

特別選抜等及び一般選抜の合格者発表は、高等学校での掲示に加え、ウェブページにより行う。詳細は別途通知する。ただし、追検査の合格者発表は、ウェブページ及び受験者本人への通知により行う。